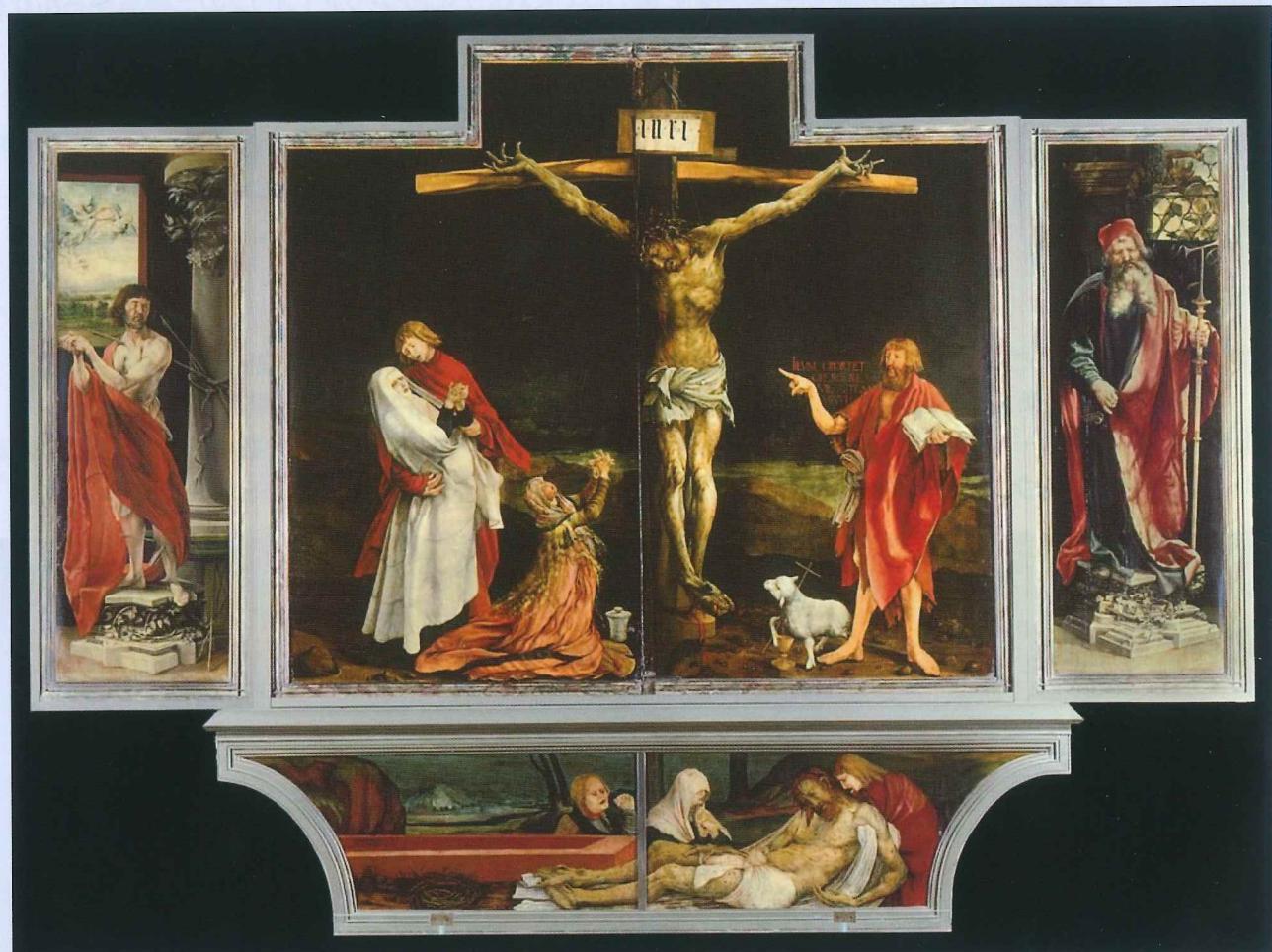


上野学園大学 古楽研究室演奏会 —バッハゾリステン・ソウルを迎えて—

D.ブクステフーデ

我らがイエスの四肢



バッハゾリステン・ソウル

ソプラノⅠ

イ・スピ

ソプラノⅡ

シン・チャミン

アルト

パク・チナ

テノール

パク・スンヒ

バス

パク・スンヒヨク

ヴァイオリンⅠ

ヴァイオリンⅡ

ヴィオローネ

ヴィオラ・ダ・ガンバ

ポジティフ・オルガン

オルガン

三輪真樹

緒方 恵

折口未桜

櫻井 茂 清水愛架

木ノ本莉菜 丸山実里

戸崎廣乃

小林英之

2019年2月25日(月)19:00 開演(18:30 開場)

上野学園 石橋メモリアルホール

全席自由 3,000円(学生 1,000円)

主催:上野学園大学古楽研究室 協力:音楽事務所アシスト

お問合せ:tel/fax 03-3304-9250 e-mail office_assist@ac.auone-net.jp

上野学園大学古楽研究室では 2006 年から 2011 年にかけて 6 回にわたり本学学生と教員、そして今日第一線で活躍している演奏家が共に参加してバッハのカンタータを中心とした楽曲に取り組む演奏会を行いました。いわゆる「古楽」が一般化するにつれて「ピリオド奏法」などといった表面的な、マニュアル化された演奏スタイルがまことしやかに語られるようになってしまった状況の中で、いま一度「演奏」の意味を考え直し、実践し、その過程を共に体験しようというこの機会に、延べ 120 名の学生が参加してくれました。

そして、多くの素晴らしい演奏家がこのプロジェクトに協力してくれました。パク・スンヒ氏もその一人で、彼は全ての演奏会に参加し、独唱とともにコーラスパートも学生たちと一緒に歌ってくれました。

今回、このパク・スンヒ氏が主催する『バッハゾリステン・ソウル』のメンバー 5 人を迎えて、器楽には本学学生と教員、そして故大橋敏成本学名誉教授の時代から古楽研究室活動に協力してくれたバロック・ヴァイオリンの三輪真樹さんが参加してブクステフーデの大作「我らがイエスの四肢」を共に演奏できることは大きな喜びです。

上野学園大学 古楽研究室

櫻井 茂

Bachsolisten Seoul

バッハゾリステン・ソウルは韓国を代表する古楽アンサンブル、メンバーはそれぞれソリストとしての活動の他

韓国内の音楽大学で教鞭を取るなど、現在韓国古楽界において中心的な役割を果たしている。

2009 年国際古楽コンクールく山梨>アンサンブル部門 3 位入賞を機に日本にも活動の場を拡げ、2016 年受難節には
バッハ・コレギウム・ジャパンと合同でマタイ受難曲を日韓両国で演奏するなど交流を深めている。



上野学園 石橋メモリアルホール

東京都台東区東上野 4-24-12
学校法人上野学園内

JR 各線「上野駅」入谷改札より入谷口から徒歩 8 分
東京メトロ日比谷線／銀座線「上野駅」1 番出口より徒歩 8 分

